

# 彙報

会長 福井直樹

## ——常任委員会——

### 2023年度第1回常任委員会

日時：2023年6月3日（土）13:00～16:00

場所：オンライン

出席者：福井直樹（会長）、有田節子、上山あゆみ、太田真理、北原真冬、桐生和幸、酒井弘、菅原彩加、成田広樹、原田なをみ（以上、常任委員）、石井透（事務局長）

オブザーバー：呉人 恵（編集委員長）、松浦年男（大会運営委員長）、内藤真帆（広報委員長）、田中真一（夏期講座委員長）、江口 正（倫理委員長）、佐々木冠（国際発信力強化小委員長）、秋庭大悟、小林ゆきの（以上、事務局委員）

#### [報告事項]

#### (1) 今期の組織・役員について

- ・今期の組織・役員が資料によって確認された。

#### (2) 今後の大会開催予定について

- ・以下の予定が報告された。
  - 第167回大会（2023年度秋季大会）：2023年11月11日～12日、同志社大学（大会実行委員長：沈 力氏）
  - 第168回大会（2024年度春季大会）：2024年6月15日～16日、国際基督教大学（ただし、今後日程の変更の可能性がある。）
  - 第169回大会（2024年度秋季大会）：2024年11月9日～10日、北海道大学

#### (3) 各種委員会からの報告

- ・本彙報の各委員会の項目を参照。

#### (4) 事務局からの報告

1. 『言語研究』の公開入札について  
『言語研究』第164号、第165号の出版について、3月3日公示、4月3日締め切り、4月6日開札の日程で一般競争入

札を行い、開札の結果、今年度も『言語研究』の印刷を中西印刷に委託することが決定したことが報告された。また、公開入札期間中に事務局が交代することを避けるため、今回は公開入札の日程を早める予定であることが報告された。

#### 2. 今年度のメルマガスケジュールについて

今年度のメールマガジンの配信予定内容を確認した。

#### 3. 日本学術振興会学振賞について

1名を推薦したことが報告された。

#### 4. 日本学術振興会育志賞について

該当者がなく推薦を見送ることが報告された。

#### 5. 文化庁「危機的な状況にある言語・方言サミット」の後援について

令和5年1月28日（土）・29日（日）に開催された文化庁「危機的な状況にある言語・方言サミット」の後援を行ったことが報告された。

#### 6. 日本学術会議に関する声明について

日本学術会議『内閣府「日本学術会議の在り方についての方針」（令和4年12月6日）について再考を求めます』についてWebサイトに声明を発表したことが報告された。

#### 7. 科学研究費助成事業（国際情報発信力強化）中間評価について

科学研究費助成事業（国際発信力強化）の中間評価の内容が報告された。

#### (5) 2022年度言語の多様性に関する啓蒙・教育プロジェクト実施報告について

- ・2件のプロジェクトの実施報告書、会計報告書を確認した。

#### (6) 2023年度言語の多様性に関する啓蒙・教育プロジェクト（採否）について

- ・1件の申請について、メール審議により採択としたことが報告された。

#### (7) Scopus登録申請について

- ・Scopusに登録申請をするための『言語研究』掲載論文の参考文献のローマ字化作業の進捗状況が報告された。

## [審議事項]

- (1) 2022 年度決算書について
  - ・2022 年度決算書について審議を行い、それを承認した。
- (2) 2023 年度予算案について
  - ・2023 年度予算案について審議を行い、それを承認した。
- (3) 聴覚障害を有する会員への支援について
  - ・第 166 回大会における 1 件の手話通訳支援申込みについて承認した。
  - ・「聴覚障害を有する会員の支援に関する申し合わせ」の改定について、継続審議とすることを決定した。
- (4) 外部団体の活動への協力について
  - ・「外部団体の活動への協力に関する規程」(案)について審議を行い、それを承認した。
- (5) 『学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想』(ロードマップ 2023)』について
  - ・文科省が公募する『学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想』(ロードマップ 2023)』への申請について審議を行い、それを承認した。
- (6) 『学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想』(ロードマップ 2023)』に関する国立国語研究所からの依頼について
  - ・文科省が公募する『学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想』(ロードマップ 2023)』に関して、国立国語研究所からのサポートレターの協力依頼について審議を行い、それを承認した。

江口 正, 江畑冬生, 大津由紀雄, 荻野綱男, 奥 聡, 風間伸次郎, 加藤重広, 河内一博, 北原久嗣, 木部暢子, 桐生和幸, 窪蘭晴夫, 窪田悠介, 呉人 恵, 小泉政利, 小林正人, 斎藤 衛, 酒井 弘, 佐々木冠, 田窪行則, 竹沢幸一, 千田俊太郎, 塚本秀樹, 中谷健太郎, 長屋尚典, 西村義樹, 野田尚史, 林 徹, 林 範彦, 早津恵美子, 広瀬友紀, 堀江薫, 松浦年男, 松本 曜, 宮本陽一, 山越康裕, 吉田和彦 (以上, 評議員 42 名)

委任状: 23 名

オブザーバー: 上野善道, 梶 茂樹 (以上, 顧問), 藤代 節, 米田信子 (以上, 会計監査委員), 内藤真帆 (広報委員長), 田中真一 (夏期講座委員長), 秋庭大悟, 小林ゆきの (以上, 事務局委員)

## [報告事項]

- (1) 今期の組織・役員について
  - ・今期の組織・役員が資料によって確認された。
- (2) 今後の大会開催予定について
  - ・以下の予定が報告された。
  - 第 167 回大会 (2023 年度秋季大会): 2023 年 11 月 11 日～12 日, 同志社大学 (大会実行委員長: 沈 力氏)
  - 第 168 回大会 (2024 年度春季大会): 2024 年 6 月 15 日～16 日, 国際基督教大学 (ただし, 今後日程の変更の可能性がある。)
  - 第 169 回大会 (2024 年度秋季大会): 2024 年 11 月 9 日～10 日, 北海道大学
- (3) 各種委員会からの報告
  - ・本彙報の各委員会の項目を参照。
- (4) 事務局からの報告

## 1. 『言語研究』の公開入札について

『言語研究』第 164 号, 第 165 号の出版について, 3 月 3 日公示, 4 月 3 日締め切り, 4 月 6 日開札の日程で一般競争入札を行い, 開札の結果, 今年度も『言語研究』の印刷を中西印刷に委託することが決定したことが報告された。また, 公開入札期間中に事務局が交代することを

## ——評議員会——

## 2023 年度第 1 回評議員会

日 時: 2023 年 6 月 17 日 (土) 10:30～12:30

場 所: 専修大学神田キャンパス 相馬永胤記念ホール

出席者: 福井直樹 (会長), 有田節子, 石井透, 上田 功, 上山あゆみ, 内堀朝子,

- 避けるため、今回は公開入札の日程を早める予定であることが報告された。
2. 今年度のメルマガスケジュールについて  
今年度のメールマガジンの配信予定内容を確認した。
  3. 日本学術振興会学振賞について  
1名を推薦したことが報告された。
  4. 日本学術振興会育志賞について  
該当者がなく推薦を見送ることが報告された。
  5. 文化庁「危機的な状況にある言語・方言サミット」の後援について  
令和5年1月28日(土)・29日(日)に開催された文化庁「危機的な状況にある言語・方言サミット」の後援を行ったことが報告された。
  6. 日本学術会議に関する声明について  
日本学術会議『内閣府「日本学術会議の在り方についての方針」(令和4年12月6日)について再考を求めます』についてWebサイトに声明を発表したことが報告された。
  7. 科学研究費助成事業(国際情報発信力強化)中間評価について  
科学研究費助成事業(国際発信力強化)の中間評価の内容が報告された。
- (5) 2022年度言語の多様性に関する啓蒙・教育プロジェクト実施報告について  
・2件のプロジェクトの実施報告書、会計報告書を確認した。
- (6) 2023年度言語の多様性に関する啓蒙・教育プロジェクト(採否)について  
・1件の申請について、メール審議により採択としたことが報告された。
- (7) Scopus登録申請について  
・Scopusに登録申請をするための『言語研究』掲載論文の参考文献のローマ字化作業の進捗状況が報告された。

[審議事項]

- (1) 2022年度決算書について【別表1参照】  
・2022年度決算書について審議を行い、それを承認した。

- (2) 2023年度予算案について【別表2参照】  
・2023年度予算案について審議を行い、それを承認した。
- (3) 聴覚障害を有する会員への支援について  
・第166回大会における1件の手話通訳支援申込みについて承認した。
- (4) 外部団体の活動への協力について  
・「外部団体の活動への協力に関する規程」(案)について審議を行い、それを承認した。
- (5) 『学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想』(ロードマップ2023)について  
・文科省が公募する『学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想』(ロードマップ2023)への申請について審議を行い、それを承認した。
- (6) 『学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想』(ロードマップ2023)に関する国立国語研究所からの依頼について  
・文科省が公募する『学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想』(ロードマップ2023)に関して、国立国語研究所からのサポートレーターの協力依頼について審議を行い、それを承認した。

——編集委員会——

1. 報告事項

1.1. 投稿状況(2022.4.1-2023.3.31)について

	全体	一般論文	特集論文	フォーラム	書評論文	書評・紹介
投稿数	28	15	10	2	0	1
審査終了数	31	19	7	5	0	0
採択(A)数	11	4	6	1	0	0
採択率(%)	35.5	21.1	85.7	20.0	0.0	0.0
不採択(D)数	20	15	1	4	0	0
不採択率(%)	64.5	78.9	14.3	80.0	0.0	0.0

\*採択率、不採択率は、審査終了数を分母として算定。

\*全審査終了数の分野別内訳:理論言語学7, 文字論5, 日本語学4, 記述言語学4, 英語学3, 日本語方言学2, 第二言語習得1, 意味論1, 認知言語学1, 類型論1, 文法論1, 音声学1

## 1.2. 刊行予定スケジュールの確認について

	164号	165号	166号
特集告知	2021.9.1		2022.9.1
特集締切	2022.8.31		2023.8.31
入稿	2023.4.20 (済)	2023.10.20	2024.4.20
刊行	2023.7.25	2024.1.25	2024.7.25
備考	特集 (文字論)		特集 (認知言語学)

## 1.3. 164号掲載予定論文について

『言語研究』164号(2023年7月刊行)には、特集論文(徳憑)3本, 特集論文(一般)1本, 一般論文1本, フォーラム1本が掲載されることになった。

## 2. 審議事項

### 2.1. プレプリント投稿への対応について

昨年度からの継続審議となっていた『言語研究』へのプレプリント投稿について、現行の『言語研究』投稿規程(日本語学会-投稿規程(ls-japan.org))の該当箇所を次のように改訂することが常任委員会ならびに評議員会で承認された。

改訂前:「投稿は未公開の完全原稿に限る。」

改訂後:「投稿は未公開の完全原稿に限る。ただし、機関リポジトリ、プレプリント・サーバーでWEB公開されている場合には、投稿の際その旨を知らせ、相応の加筆・修正をおこなえば、投稿が可能となる。なお、WEB公開されている論文が、過去に『言語研究』に投稿して不採択となった論文と同一のテーマを対象としている場合には、投稿はできない。」

なお、査読における現行のダブルブライント

制の是非については、プレプリントだけでなくすべての投稿論文にかかわっており、さらに検討を要すると考えられるため、継続審議とする。

## ——大会運営委員会——

### 2022年度第3回大会運営委員会

日時: 2023年2月24日(金) 10:30 ~ 12:00

場所: オンライン

出席者: 松浦年男(大会運営委員長), 白井聡子, 米山聖子, 浅原正幸, 大滝宏一, 衣畑智秀, 黒木邦彦, 甲斐ますみ, 小町将之, 矢野雅貴, 田川拓海, 吉田健二

#### [審議事項]

- (1) 第166回大会のスケジュール、開催形態を確認し、専修大学で現地開催とすること、ならびにオンラインで後日配信を行うことを承認した。
- (2) 第166回大会の研究発表の形態について審議し、口頭発表の件数を最大15件にし、応募者には口頭発表とポスター発表の優先順位を設定させたうえで、得点上位から希望の形態に割りあてることを承認した。
- (3) オンラインでの発表を認める方針とすることを承認した。なお、オンラインでの発表を希望する者は現地会場のスクリーンにPC等を接続し発表映像を映す操作をする人を確保することを条件とした。

### 2023年度第1回大会運営委員会

日時: 2023年4月5日(水) 10:00 ~ 12:30

場所: オンライン

出席者: 松浦年男(大会運営委員長), 白井聡子, 米山聖子, 浅原正幸, 大滝宏一, 衣畑智秀, 小野智香子, 甲斐ますみ, 小町将之, 矢野雅貴, 田川拓海, 吉田健二

#### [審議事項]

- (1) 第166回大会における研究発表の採否

について審議した。応募用紙の審査結果に基づき、口頭発表 15 件、ポスター発表 29 件の計 44 件（研究発表全体で応募 54 件）、ワークショップ 5 件（応募 5 件）を採択することとした。

- (2) 第 166 回大会のプログラムを編成し、採択された口頭発表を 3 つの会場に割り振り、それぞれの会場の司会者を決定した。また、役割分担と今後の大会開催予定を確認した。
- (3) オンラインでの発表を第 166 回大会では試行的に、第 167 回大会より正式に実施することを承認した。

——広報委員会——

- (1) 学会からのお知らせ（大会情報、論文賞、大会発表賞、学会プロジェクト、『言語研究』など）および学会関連情報（公募情報、研究会情報など）を随時更新した。
- (2) Twitter と Facebook で、学会からのお知らせを随時発信した。
- (3) YouTube チャンネルで大会公開シンポジウムと夏期講座 2022 特別講演の動画を公開した。
- (4) ウェブサイトの情報に更新漏れがないか、また関連学会一覧に掲載している各学会のリンクが切れていないか等の確認を行なった。
- (5) 新年度になり役員に変更があったため、「組織・役員等」の情報を更新した。

——学会賞選考委員会——

(報告なし)

——夏期講座委員会——

**第 1 回夏期講座委員会**: 2023 年 5 月 29 日(月)  
 オンライン会議  
 出席者: 内堀朝子, 木山幸子, 古賀裕章,  
 田中真一, 堀 博文

(1) 夏期講座 2024

- ・夏期講座 2024 について、期間を 2024 年 8 月 26 日(月) - 31 日(土) (6 日間) との原案を承認し、場所は当初の予定通り、神戸大学人文学研究科(神戸市灘区六甲台第 2 キャンパス) とすることを確認した。
- ・開催形式について、対面開催を基本とすることを決定した。
- ・科目数を、通常の 12 科目にする原案を承認し、科目・講師については 9 月末までに決定することを確認した。
- ・夏期講座実行委員会(神戸大学)について、組織準備中であり、11 月までに決定することが報告された。

(2) 夏期講座 2026

- ・開催校について選定中であり、9 月末までに決定する方向であることを確認した。

(3) 委員交代

- ・9 月末の委員 2 名(田中真一(神戸大学)、千田俊太郎(京都大学)) の任期満了に伴い、新委員 2 名を 9 月末までに選定することを確認した。

——倫理委員会——

(1) 令和 5 (2023) 年度 4 月からの倫理委員

委員長	江口 正
	2023/04/01 ~ 2023/9/30
副委員長	奥 聡
	2023/04/01 ~ 2023/09/30
委員	小林正人
	2022/04/01 ~ 2023/9/30
委員	大崎紀子
	2022/04/01 ~ 2023/9/30
委員	折田奈甫
	2022/04/01 ~ 2023/9/30
委員	越智正男
	2022/04/01 ~ 2023/9/30
委員	木津弥佳
	2023/04/01 ~ 2024/09/30
委員	新沼史和
	2023/04/01 ~ 2024/09/30

- (2) 2022 年度第 4 回 倫理委員会（メール開催：2022 年 11 月 13 日（日）～ 16 日（水））
1. 2022 年度日本言語学会若手アンケート集計結果（倫理委員会関連部分）を共有し、学会としての倫理教育のあり方等引き続き情報共有していくこととした。
  2. 委員任期 1 年（「倫理委員会規程」）に合わせ、委員長および副委員長の任期も 1 年交代とする運用方針案（持ち帰り案件）について審議し了承された（事務局へ結果を報告した）。

——国際発信力強化小委員会——

- (1) 2022 年度に英訳した会長就任記念論文を 5 本ずつ掲載した Gengo Kenkyu Anthology Vol.2 と Vol.3 を J-STAGE で公開した。2023 年度は英訳した日本言語学会論文賞論文 4 本を掲載した Vol.4 を公開する予定である。
- (2) 過年度に引き続き 2023 年度も英文論文投稿を促すための企画を検討している。
- (3) 参考文献欄のローマ字化を 2023 年度内に完了させる。

【別表 1】2022 年度日本言語学会決算

自 2021 年 4 月 至 2022 年 3 月

(単位：円)

取 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
会 費	12,526,000	刊 行 費	2,057,484
雑 誌 売 上	1,189,800	発 送 費	287,641
科学研究費補助金	4,007,000	事 務 委 託 費	4,501,200
科学研究費補助金利息	12	大 会 関 係 費	2,317,768
預 金 金 利	294	評 議 員 会 費	0
大 会 関 係 取 入	1,852,000	常 任 委 員 会 費	78,000
広 告 料	0	編 集 委 員 会 費	111,401
寄 付 金	0	大 会 運 営 委 員 会 費	207,860
雑 益	252,603	広 報 委 員 会 費	430,000
基 金 か ら 繰 入	1,000,000	夏 期 講 座 委 員 会 費	0
夏 期 講 座 関 係 取 入	2,196,002	学 会 賞 選 考 委 員 会 費	0
		倫 理 委 員 会 費	3,000
		国 際 情 報 発 信 力 強 化 小 委 員 会 費	3,265,660
		事 務 局 費	718,824
		学 会 賞 費	70,000
		多 様 性 プ ロ ジ ェ ク ト ( 公 募 型 ) 費	857,784
		夏 期 講 座 関 係 経 費	3,098,989
		言 語 系 学 会 連 合 費	50,000
		C I P L 負 担 金	120,000
		CIPL 言 語 学 文 献 一 覧 編 集 補 助 費	0
		通 信 費	566,415
		消 耗 品 費	159,087
		雑 費	7,002
		名 簿 作 成 費	0
		選 挙 関 係 費	0
		税 理 士 顧 問 料	341,000
		法 人 税	70,000
		予 備 費	20,000
		( 基 金 へ の 繰 入 )	
		選 挙 関 係 積 立 金	200,000
		多 様 性 プ ロ ジ ェ ク ト ( 公 募 型 ) 積 立 金	500,000
		夏 期 講 座 積 立 金	0
		情 報 保 障 関 係 積 立 金	500,000
取 入 合 計	23,023,711	支 出 合 計	20,539,115
前 期 繰 越 金	9,772,859	次 期 繰 越 金	12,257,455
合 計	32,796,570	合 計	32,796,570

## ◇収入内訳（単位：円）

<b>会費</b>		
	国内通常会員	10,287,000
	国内維持会員	0
	国内学生会員	948,000
	国内シニア会員	652,000
	国内団体会員	448,000
	国内賛助会員	30,000
	在外通常会員	133,000
	在外学生会員	28,000
	合 計	12,526,000
<b>雑誌売上</b>		
	書店販売	1,157,800
	松香堂書店（取り次ぎ業務委託）	893,200
	丸善雄松堂	144,900
	紀伊國屋書店	107,100
	その他書店	12,600
	事務局販売	32,000
	合 計	1,189,800
<b>科学研究費補助金</b>		4,007,000
	うち 7,000 円は前年度からの繰越	
<b>科学研究費補助金利息</b>		12
<b>預金金利</b>		294
<b>大会関係収入</b>		
	大会参加費	1,852,000
	第 164 回大会	1,011,000
	第 165 回大会	841,000
	大会出店料	0
	予稿集売上	0
	託児関係収入	0
	合 計	1,852,000
<b>広告料</b>		0
<b>寄付金</b>		0
<b>雑益</b>		
	2021 年度多様性プロジェクト残額返金	222,603
	言語系学会連合補助金（第 164 回大会）	30,000
	合 計	252,603
<b>基金から繰入</b>	夏期講座積立金	1,000,000
<b>夏期講座関係収入</b>		
	夏期講座参加費	2,196,000
	その他（預金利子）	2
	合 計	2,196,002

◇支出内訳（単位：円）

刊行費

内 訳	162号 (210 p.)	163号 (198 p.)	計 (408 p.)
印刷費	1,034,880	975,744	2,010,624
抜刷代	23,100	23,760	46,860
合 計	1,057,980	999,504	2,057,484

※組版・校正料は印刷費に含む

発送費

『言語研究』一斉発送費	162号	136,253
	163号	151,388
合 計		287,641

事務委託費

4,501,200

2022年4月分～2023年3月分

日本言語学会と中西印刷株式会社により交わされた事務委託内容の覚書に基づく業務の代金

374,000円×12ヶ月＋郵便振替受払書類出力13,200円

大会関係費

内 訳	第164回	第165回	計
プログラム印刷費	0	0	0
予稿集作成費	174,625	179,025	353,650
その他印刷費/備品	0	0	0
プログラム発送費	0	0	0
その他発送費	4,788	4,704	9,492
大会費	1,071,307	711,319	1,782,626
講師謝金等	60,000	90,000	150,000
託児関係費	0	0	0
手話通訳謝礼	0	0	0
大会実行委員長経費補助	0	0	0
ノートテイキング補助	0	0	0
応募フォーム管理費	11,000	11,000	22,000
合 計	1,321,720	996,048	2,317,768

評議員会費

0

<b>常任委員会費</b>	
日当 (2回)	78,000
<b>編集委員会費</b>	
日当 (2回)	42,000
Zoom 使用料	2,200
規程類英文校閲費	1,201
J-STAGE 投稿査読システム費	66,000
合 計	111,401
<b>大会運営委員会費</b>	
日当 (3回)	70,000
会場視察旅費・日当	77,860
プログラム作成謝金	60,000
合 計	207,860
<b>広報委員会費</b>	
ホームページ保守管理委託費	165,000
Webmaster 経費補助	120,000
SNS 活動費	145,000
合 計	430,000
<b>夏期講座委員会費</b>	0
<b>学会賞選考委員会費</b>	0
<b>倫理委員会費</b>	
内規英語版英文校閲	3,000
<b>国際発信力強化小委員会費</b>	
日当 (2回)	14,000
英文要旨作成ワークショップ (日当, 謝金)	81,860
会長就任講演論文英訳・翻訳・編集謝金 (5編)	1,574,600
会長就任講演論文画像使用料	20,000
Gengo Kenkyu Anthology Vol.2 (PDF 作成, J-STAGE 登載作業)	514,250
Gengo Kenkyu Anthology Vol.3 (PDF 作成, J-STAGE 登載作業)	514,250
『言語研究』日本語引用文献ローマ字化	546,700
合 計	3,265,660

**事務局費**

日当 (7回)	54,000
旅費	38,424
「未来の学術」申請書イメージ図作成	26,400
事務局長・事務局委員活動費	600,000

---

合 計 718,824

**学会賞費**

論文賞副賞 (1件)	50,000
発表賞副賞 (2件)	20,000

---

合 計 70,000

**多様性プロジェクト (公募型) 費**

857,784

**夏期講座経費**

講師謝金・食事手当・交通費	1,054,150
夏期講座委員旅費・日当	70,761
実行委員会日当	465,000
講師・委員宿泊費	272,570
参加登録システム・受付事務	659,450
アルバイト給与	213,000
消耗品費・通信費	63,418
スタッフ食事	64,140
動画編集	236,500

---

合 計 3,098,989

**言語系学会連合費**

50,000

**CIPL 負担金**

120,000

**CIPL 言語学文献一覧編集補助費**

0

**通信費**

切手購入、通常発送費	28,517
みずほ銀行ビジネス Web 使用料	39,600
会費請求・督促送料	129,444
オンラインクレジット決済手数料	191,324
自動引落手数料	45,160
送金手数料	75,145
残高証明発行手数料	2,200
『言語研究』追加・抜刷・バックナンバー送料	55,025

---

合 計 566,415

<b>消耗品費</b>	
振替用紙印刷費	42,377
封筒印刷費	102,960
事務処理票	13,750
合 計	159,087
<b>雑費</b>	
2021 年度科研費繰越分返金	7,002
<b>名簿作成費</b>	
	0
<b>選挙関係費</b>	
	0
<b>税理士顧問料</b>	
顧問料	198,000
年末調整・法定調書作成	33,000
決算料	110,000
合 計	341,000
<b>法人税</b>	
法人市民税	50,000
法人府民税	20,000
合 計	70,000
<b>予備費</b>	
GEAHSS 分担金 (2019 年度未払分・2022 年度)	20,000
<b>基金への繰入</b>	
選挙関係	200,000
多様性プロジェクト (公募型)	500,000
情報保障関係	500,000
合 計	1,200,000

◇ 2022 年度決算 予算・実績対照表

収入 (単位：円)

科目	予算	実績	対予算差異
会費	11,800,000	12,526,000	726,000
雑誌売上	600,000	1,189,800	589,800
科学研究費補助金	4,000,000	4,007,000	7,000
科学研究費補助金利息	0	12	12
預金利息	250	294	44
大会関係収入	1,600,000	1,852,000	252,000
広告料	0	0	0
寄付金	0	0	0
雑益	0	252,603	252,603
基金から繰入	1,000,000	1,000,000	0
夏期講座関係収入	2,800,000	2,196,002	△ 603,998
収入合計	21,800,250	23,023,711	1,223,461
前期繰越金	9,772,859	9,772,859	0
合計	31,573,109	32,796,570	1,223,461

支出 (単位：円)

科目	予算	実績	対予算差異
刊行費	4,200,000	2,057,484	2,142,516
発送費	400,000	287,641	112,359
事務委託費	4,500,870	4,501,200	△ 330
大会関係費	3,000,000	2,317,768	682,232
評議員会費	200,000	0	200,000
常任委員会費	500,000	78,000	422,000
編集委員会費	1,500,000	111,401	1,388,599
大会運営委員会費	500,000	207,860	292,140
広報委員会費	1,000,000	430,000	570,000
夏期講座委員会費	200,000	0	200,000
学会賞選考委員会費	250,000	0	250,000
倫理委員会費	500,000	3,000	497,000
国際情報発信力強化小委員会費	3,500,000	3,265,660	234,340
事務局費	900,000	718,824	181,176
学会賞費	200,000	70,000	130,000
多様性プロジェクト(公募型)費	1,000,000	857,784	142,216
夏期講座関係経費	3,766,270	3,098,989	667,281
言語系学会連合費	50,000	50,000	0
C I P L 負担金	120,000	120,000	0
C I P L 言語学文献一覧編集補助費	200,000	0	200,000
通信費	900,000	566,415	333,585
消耗品費	350,000	159,087	190,913
雑費	0	7,002	△ 7,002
名簿作成費		0	0
選挙関係費	0	0	0
税理士顧問料	341,000	341,000	0
法人税	70,000	70,000	0
予備	2,232,969	20,000	2,212,969
(基金への繰入)			
選挙関係積立金	200,000	200,000	0
多様性プロジェクト(公募型)積立金	500,000	500,000	0
夏期講座積立金	0	0	0
情報保障関係積立金	500,000	500,000	0
支出合計	31,581,109	20,539,115	11,041,994
次期繰越金	0	12,257,455	△ 12,257,455
合計	31,581,109	32,796,570	△ 1,215,461

## ◇資産勘定

2023年3月31日(単位:円)

借方	金額	貸方	金額
事務支局		前受会費	
現金	78,272	国内通常	94,000
みずほ銀行口座	10,989,887	国内学生	20,000
郵便振替口座	1,474,888	在外通常	7,000
科研費口座	7,000	前受金	132,300
未収金*	893,200	未払金**	924,836
		源泉税預り金	7,656
		次期繰越	12,257,455
計	13,443,247	計	13,443,247

\* 未収金は当該年度内の収入の回収が間に合わなかった場合の科目。

2022年度決算の未収金の内訳は以下の通り。

内訳	金額
雑誌売上(松香堂書店分)	893,200
合計	893,200

\*\* 未払金は当該年度内の支出が間に合わなかった場合の科目。

2022年度決算の未払金の内訳は以下の通り。

内訳	金額
事務委託費3月	374,000
会費払込用紙	3,492
ホームページ保守管理委託費	165,000
大会発表応募フォーム費用	22,000
郵便振替受払書類出力作業費	13,200
Gengo Kenkyu Anthology Vol. 3 J-STAGE 登載	30,250
編集委員会日当	18,000
第166回大会現地視察	77,860
大会運営委員会日当	8,000
事務局委員大会日当	32,000
『言語研究』バックナンバー送料	1,034
税理士決算料	110,000
法人税	70,000
合計	924,836

◇基金 決算

基金 損益計算書

(単位：円)

取 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
期首特別会計（前期繰越）	14,205,768	一般会計へ支出	1,000,000
一般会計から繰入	1,200,000		
定期預金金利	67		
収入合計	15,405,835	支出合計	1,000,000
		次期繰越金	14,405,835
計	15,405,835	計	15,405,835

基金 資産勘定

2023年3月31日 (単位：円)

借 方	金 額	貸 方	金 額
みずほ銀行定期預金口座	10,600,000	積立金	14,405,835
京都銀行定期預金口座	3,805,835		
計	14,405,835	計	14,405,835

○基金内訳（目的別）

2023年3月31日 (単位：円)

記念大会積立金	1,000,821
夏期講座積立金	3,301,135
危機言語プロジェクト積立金	703,058
e-ジャーナル積立金	2,500,821
言語学普及積立金	500,000
多様性プロジェクト（公募型）積立金	3,300,000
選挙積立金	1,100,000
情報保障関係積立金	2,000,000
計	14,405,835

○基金内訳（銀行別）		2023年3月31日（単位：円）	
銀行名	預かり番号	名目	金額
京都銀行	003	記念大会積立金	1,000,821
みずほ銀行	078	夏期講座積立金	700,000
みずほ銀行	082	〃	200,000
みずほ銀行	088	〃	500,000
みずほ銀行	093	〃	500,000
京都銀行	005	〃	1,401,135
みずほ銀行	074	危機言語プロジェクト積立金	300,000
京都銀行	001	〃	403,058
京都銀行	004	e-ジャーナル積立金	1,000,821
みずほ銀行	073	〃	1,000,000
みずほ銀行	075	〃	500,000
みずほ銀行	076	言語学普及積立金	500,000
みずほ銀行	077	多様性プロジェクト（公募型）積立金	300,000
みずほ銀行	079	〃	500,000
みずほ銀行	080	〃	500,000
みずほ銀行	083	〃	500,000
みずほ銀行	084	〃	500,000
みずほ銀行	091	〃	500,000
みずほ銀行	097	〃	500,000
みずほ銀行	086	選挙関係積立金	200,000
みずほ銀行	089	〃	500,000
みずほ銀行	094	〃	200,000
みずほ銀行	096	〃	200,000
みずほ銀行	087	情報保障関係積立金	500,000
みずほ銀行	090	〃	500,000
みずほ銀行	095	〃	500,000
みずほ銀行	098	〃	500,000
計			14,405,835

【別表 2】 2023 年度日本語学会予算

自 2023 年 4 月 至 2024 年 3 月

(単位：円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
会 費	11,800,000	刊 行 費	4,200,000
雑 誌 売 上	600,000	発 送 費	400,000
科学研究費補助金	4,000,000	事 務 委 託 費	4,600,000
科学研究費補助金利息	0	大 会 関 係 費	3,100,000
預 金 金 利	250	評 議 員 会 費	200,000
大会関係収入	1,600,000	常 任 委 員 会 費	500,000
夏期講座関係収入	0	編 集 委 員 会 費	1,500,000
寄 付 金	0	大 会 運 営 委 員 会 費	500,000
雑 益	0	広 報 委 員 会 費	2,000,000
夏期講座準備費返納 (基金からの繰入)	0	夏 期 講 座 委 員 会 費	200,000
選挙関係積立金	600,000	学 会 賞 選 考 委 員 会 費	250,000
情報保障関係積立金	100,000	倫 理 委 員 会 費	500,000
		国 際 発 信 力 強 化 小 委 員 会 費	3,500,000
		事 務 局 費	900,000
		学 会 賞 費	200,000
		多 様 性 プ ロ ジ ェ ク ト ( 公 募 型 ) 費	300,000
		夏 期 講 座 関 係 経 費	0
		言 語 系 学 会 連 合 費	50,000
		C I P L 負 担 金	120,000
		C I P L 言 語 学 文 献 一 覧 編 集 補 助	200,000
		G E A H S S 分 担 金	10,000
		通 信 費	900,000
		消 耗 品 費	350,000
		雑 費	0
		選 挙 関 係 費	1,000,000
		税 理 士 顧 問 料	341,000
		法 人 税	70,000
		予 備 費	3,599,739
		( 基 金 へ の 繰 入 )	
		選 挙 関 係 積 立 金	0
		多 様 性 プ ロ ジ ェ ク ト ( 公 募 型 ) 積 立 金	500,000
		夏 期 講 座 積 立 金	500,000
		情 報 保 障 関 係 積 立 金	500,000
		基 金 預 け 替 え	0
収 入 合 計	18,700,250	支 出 合 計	30,990,739
前 期 繰 越 金	12,290,489	収 支 差 額 ( 次 期 繰 越 金 )	0
合 計	30,990,739	合 計	30,990,739

## 第 166 回大会

期日 2023 年 6 月 17 日 (土)・18 日 (日)

会場 専修大学 神田キャンパス 10 号館 (東京都千代田区) および録画配信

公開特別シンポジウム 6 月 18 日 (日) 14:00 ~ 17:00 (3F 黒門ホール)

- 「言語学から見た子どもの英語習得」 司会・趣旨説明：尾島 司郎
- (S-1) 小学生の大規模脳科学研究で見えてきた英語学習開始年齢と接触時間の影響 尾島 司郎
- (S-2) インターナショナルスクールと『おうち英語』の学習環境・国語力 柴田奈津美
- (S-3) どのくらい流暢に話せるのか？ インター・『おうち英語』・大学生を比較して 三浦 篤史
- (S-4) 子どもは英文法知識をどのように習得していくか？ 広瀬 友紀  
(1) —Wh 疑問文と関係節に着目して—
- (S-5) 子どもは英文法知識をどのように習得していくか？ 田中 広宣  
(2) —複雑な名詞句を使うようになるまで—

## 口頭発表

—第 1 日 (6 月 17 日 (土)) 13:00 ~ 16:00—

◦ A 会場 (10031 教室)

- (A-1) 13:00 ~ アミ語における主要部内在型関係節の再解釈と格標識・リンカーの関係 今西 一太
- (A-2) 13:35 ~ 意志性によるビルマ語動詞の分類 田中 皓也
- (A-3) 14:20 ~ シンハラ語の焦点標示と二つの対比性：実験的研究 吉田 樹生
- (A-4) 14:55 ~ ウズベク語における命題的モダリティを表す分析的表現の相互承接 —主観性に注目して— 日高 晋介
- (A-5) 15:30 ~ キルギス語のエコーワード 小田桐奈美

アケタリエワジヤクシク

◦ B 会場 (10041 教室)

- (B-1) 13:00 ~ インドネシア語の接頭辞 di- 受身文における動作主標示形式について 佐近 優太
- (B-2) 13:35 ~ トルコ語における補文節内の示差的主語標示 鈴木 唯
- (B-3) 14:20 ~ 女性アイドルのニックネームにおける接尾辞「ちゃん」のバリエーションに関する音象徴的分析 熊谷 学而
- (B-4) 14:55 ~ 英語話者による日本語拗音の借用パターン 土川 京子
- (B-5) 15:30 ~ 日本語アクセントが母音の長短の知覚に与えるトップダウン効果 有賀 照道  
松原 理佐

◦ C 会場 (10051 教室)

- (C-1) 13:00 ~ 単語内部の階層構造を反映した周期的な脳活動の増大：脳波による研究 太田 真理  
中島 潤  
山田 絵美
- (C-2) 13:35 ~ 「かどうか」による *wh* 句の錯覚的認可—時間制限付き容認性判断実験— 峰見 一輝
- (C-3) 14:20 ~ 日本手話の断り・謝罪談話のポライトネス・ストラテジー 高嶋由布子  
有光 奈美
- (C-4) 14:55 ~ 限定のダケと対比のハに基づく、ダケハの意味の構成的分析 井戸 美里  
窪田 悠介
- (C-5) 15:30 ~ A non-movement approach to Japanese sluicing Tatsuhiko MATSUDA

ポスター発表

—第1日(6月17日(土))16:15~17:45—(10061・10062教室)

- |        |   |                        |
|--------|---|------------------------|
| (P-1)  | Thetic vs. Categorical の対立における Event-reporting 文の位置付け：日本語諸方言における主題助詞・主格助詞の出現と韻律句形成から                                  | 廣澤 尚之                  |
| (P-2)  | ハルハ・モンゴル語の複数接辞 -UUd と接辞境界に現れる子音 n   | 山田 洋平<br>エンアムガランオン     |
| (P-3)  | ベンガル語の〔主格主語 分詞 GO/FALL〕構文：逆使役としての分析   | 石川さくら                  |
| (P-4)  | アヤクーチョ・ケチュア語における非未来体言化と未来体言化の非対称性   | 諸隈 夕子                  |
| (P-5)  | 直示用法における指示詞の選択原理に関する比較・対照研究—オンライン実験調査   | 菅谷 友亮                  |
| (P-6)  | 中国西南官話湘西小片における属格主語  | 牧 秀樹<br>ゼステルバ<br>牧 レオナ |
| (P-7)  | ケラビット語のオンライン辞書構築についての経過報告：フィールドワークのデータから、話者コミュニティと研究者が使用できる辞書を目指して  | 深谷 康佳                  |
| (P-8)  | 深層学習型 AI 言語生成が言語基盤研究に与える影響の評価   | 廉田 浩                   |
| (P-9)  | Malayic active voice <i>meN-</i> : One prefix or two? Michael YOSHITAKA ERLEWINE<br>Carly J. SOMMERLOT                |                        |
| (P-10) | ドイツ語の感嘆文における虚の否定辞：形式意味論による分析  | 伊藤 克将                  |
| (P-11) | 省略が可能な「のだ」の考察—新書テキストを素材として—   | 石原佳弥子                  |
| (P-12) | 付加詞節内部からの抜き出しと CP フェーズ  | 菅野 悟                   |
| (P-13) | 日本語複合動詞 (V1 + V2) において V1 受身形を可能にする認知的要因について—V2 が「尽くす」「直す」「返す」の場合—  | 森 貞                    |
| (P-14) | Structural reduction of parenthetical “I mean” at an intermediate stage of grammaticalization Siyu LI<br>Hiromune ODA |                        |
| (P-15) | 中期・後期ヒッタイト語の名詞句所有構文の再検討<br>川浪 拓也ティモスィー  |                        |
| (P-16) | オリヤ語の非同一指示規則  | 山部 順治                  |
| (P-17) | 形容詞無助詞文と二価志向性の関連について  | 阪口 慧                   |
| (P-18) | 焦点をあてる事態参加者の選択の獲得時期について   | 伊藤 創                   |
| (P-19) | アラビア語チュニス方言の語りにおける等位接続詞の機能  | 熊切 拓                   |
| (P-20) | Atelicity by Plural Noun in VP and Its Effect on Grammatical Aspect in Sentence Processing Yukie HARA                 |                        |
| (P-21) | 日本手話(愛媛方言)に見られる様態副詞の非手指形態素の波及と RS 領域<br>内堀 朝子<br>上田由紀子  |                        |
| (P-22) | The ‘passivized’ high applicative construction in Japanese Akitaka YAMADA<br>Taika NAGANO                             |                        |
| (P-23) | 日本語とマラーティー語の条件表現の対照<br>千田 聡美  |                        |
| (P-24) | 「最終手段」戦略の例としてのフランス語の <i>c’est</i> 分裂文：対照的な観点から<br>田中 優生   |                        |

- (P-25) 日本語における繰り上げ文とコントロール文の空範疇処理について 山口 航輝  
太田 真理
- (P-26) ドマリ語エルサレム方言の完了動詞に見られる変則的な一致標示 北村 萌
- (P-27) 漢語泗水方言の動物語彙の語形成についての考察 李 仁治
- (P-28) 多言語に対応した汎用的な構成的意味論の計算フレームワークの構築 峯島 宏次  
窪田 悠介  
宮尾 祐介  
窪田 愛  
船蔵 颯
- (P-29) 逐次的な文理解における文構造のつながり (connectedness) の限界と記憶の負荷 磯野真之介

## ワークショップ

—第2日(6月18日(日))10:00~12:00—

◦ワークショップ1(A会場 10031教室)

- (W-1) 手話言語学の視座と現況：マイノリティ言語を研究すること  
企画者・司会者：松岡 和美

- (W-1-1) 手話の進化と地域共有手話 矢野羽衣子
- (W-1-2) 焦点研究から考える手話の理論研究 平山 仁美
- (W-1-3) メタファーと図像性 高嶋由布子
- (W-1-4) 類型論の立場から数の表現を考察する 相良 啓子

◦ワークショップ2(B会場 10041教室)

- (W-2) チュルク諸語の副動詞にまつわる諸問題—節連結・副詞句・複雑述語—  
企画者：日高 晋介  
司会者：アクマタリエワ ジャクシルク  
コメンテーター：江畑 冬生

- (W-2-1) チュヴァシ語における条件副動詞の短形と長形 菱山 湧人
- (W-2-2) キルギス語における副動詞の副詞的用法 アクマタリエワ・ジャクシルク
- (W-2-3) カラチャイ・バルカル語の補助動詞 -(I)b iy-, -(I)b kal-, -(I)b koy- に関する対照研究 菅沼健太郎
- (W-2-4) 中央アジアのチュルク諸語における V-(I)p bol- [V-CVB be-] 日高 晋介

◦ワークショップ3(C会場 10051教室)

- (W-3) Copy Formation が織りなす諸現象の表出：Enabling Function の役割を中心に  
企画者・司会者：宗像 孝
- (W-3-1) 統辞構造の演算時における移動の優位性：項位置を中心に 宗像 孝
- (W-3-2) 同族目的語構文の派生について 北田 伸一
- (W-3-3) 検索Σとコピー形成と一致について 大宗 純
- (W-3-4) 検索Σの帰結と展望 大宗 純  
小町 将之

◦ワークショップ4(D会場 10081教室)

- (W-4) 「南の言語」の派生形態論—台湾南島諸語の語彙的接頭辞の多様性—  
企画者：野島 本泰  
司会・コメンテーター：林 範彦

- (W-4-1) ブヌン語とその周辺言語の語彙的接頭辞 野島 本泰
- (W-4-2) パイワン語とその周辺言語の語彙的接頭辞 大谷 青渚
- (W-4-3) アミ語とその周辺言語の語彙的接頭辞 今西 一太

。ワークショップ5 (E会場 10082教室)

- (W-5) 第二言語における副詞の使用：日英語学習者コーパスを用いた多角的分析から見えること  
 企画者・司会者：朴 秀娟  
 コメンテータ：砂川有里子
- (W-5-1) 日本語学習者による話し手の評価・感情を表す副詞の産出：習熟度別にみた叙法副詞の使用傾向の分析  
 朴 秀娟
- (W-5-2) 日本語学習者による様態を表すための副詞の産出：学習者の母語と第二言語での移動・状態の描写における副詞的要素の比較分析  
 吉成 祐子
- (W-5-3) 英語学習者の副詞使用の特徴：日本語学習者の特徴との比較  
 眞野 美穂

◇退 会

国内通常会員：86名  
在外通常会員：6名  
国内学生会員：30名  
在外学生会員：2名  
国内团体会員：1名  
125名

◇入 会

国内通常会員：16名  
在外通常会員：1名  
国内学生会員：15名  
在外学生会員：2名  
34名

## 2023 年度役員

### 【会長】

福井直樹

### 【顧問】

上野善道, 影山太郎, 梶茂樹, 窪蘭晴夫,  
柴谷方良, 田窪行則, 早田輝洋, 松本克己

### 【常任委員】

有田節子, 上山あゆみ, 太田真理, 奥 聡,  
北原久嗣, 北原真冬, 桐生和幸, 酒井弘,  
菅原彩加, 成田広樹, 原田なをみ

### 【事務局】

石井透 (事務局長), 秋庭大悟, 小林ゆきのの

### 【評議員 (70名)】

青木博史, 有田節子, 五十嵐陽介, 石井透,  
伊藤たかね, 井上優, 上田功, 上山あゆみ,  
内堀朝子, 梅谷博之, 江口正, 江畑冬生,  
大沢ふよう, 大津由紀雄, 萩野綱男, 奥 聡,  
尾谷昌則, 越智正男, 小野尚之, 小野創,  
風間伸次郎, 加藤重広, 河内一博, 菊澤律子,  
岸本秀樹, 北原久嗣, 木部暢子, Catt Adam,  
桐生和幸, 金水敏, 久保智之, 窪蘭晴夫,  
田田悠介, 呉人恵, 小泉政利, 小林正人,  
近藤泰弘, 斎藤衛, 酒井弘, 佐々木冠, 定延  
利之, 下地理則, 杉崎敏司, 滝浦真人, 田窪  
行則, 竹沢幸一, 千田俊太郎, 塚本秀樹,  
中川裕 (東京外国語大学), 中谷健太郎,  
長屋尚典, 中山俊秀, 那須川訓也, 西村義樹,  
新田哲夫, 野田尚史, 長谷川信子, 林 徹,  
林範彦, 早津恵美子, 広瀬友紀, 堀江薫,  
益岡隆志, 町田健, 松浦年男, 松本曜, 宮本  
陽一, 山越康裕, 由本陽子, 吉田和彦

### 【編集委員会】

呉人恵 (委員長), 青木博史, 安藤智子, 江畑  
冬生, 加藤重広, 小西いずみ, 小山哲春,  
土橋善仁, 中川裕 (東京外国語大学), 長屋

尚典, 野村益寛, 広瀬友紀, 宮本陽一  
[特別編集委員]

Lisa Cheng, Wesley Jacobsen, 金周源, Terje  
Lohndal, Andrej Malchukov, Armin Mester,  
富岡諭

### 【大会運営委員会】

松浦年男 (委員長), 浅原正幸, 大滝宏一,  
小野智香子, 甲斐ますみ, 衣畑智秀, 黒木  
邦彦, 小町将之, 白井聡子, 田川拓海, 矢野  
雅貴, 吉田健二, 米山聖子

### 【広報委員会】

内藤真帆 (委員長), 大関洋平, 児倉徳和 (英  
語ページ webmaster), 志波彩子, 杉崎敏司,  
中川奈津子, 安永大地 (日本語ページ  
webmaster)

### 【夏期講座委員会】

田中真一 (委員長), 内堀朝子, 木山幸子,  
古賀裕章, 千田俊太郎, 堀博文

### 【学会賞選考委員会】

酒井弘 (委員長), 五十嵐陽介, 北原真冬,  
桐生和幸, 小林正人, 菅原彩加, 成田広樹

### 【倫理委員会】

江口正 (委員長), 奥 聡 (副委員長), 大崎  
紀子, 越智正男, 折田奈甫, 木津弥佳, 小林  
正人, 新沼史和

### 【国際発信力強化小委員会】

佐々木冠 (委員長), 李勝勲, 宇都木昭,  
倉部慶太, 澤田英夫, 白石英才, 沈 力,  
中村涉, 平子達也, 山越康裕

### 【会計監査委員】

藤代節, 米田信子